



【今日のテーマ聖句】

「女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか。母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようとも／わたしがあなたを忘れることは決してない。」(イザヤ 49:15)

2019年1月9日(水)

地上で父親の愛を感じたことのない子どもが、神の愛を十分に理解することができるでしょうか。わたしの経験から言うと、それは非常に難しいと思います。わたしには4人の父親がいました。わたしの実の父は、わたしが胎内にいるときに母と離婚しました。わたしは父から拒絶されたと感じました。母の2人目の夫は、アルコール中毒でとても虐待的でした。母に対して殺害未遂を犯したほどでした。次の義理の父は優しくも、欲深い人でした。彼は二人の間と共に、3つの銀行で強盗をしました。彼は刑務所に入れられ、母は彼と離婚しました。

わたしの幼少期は、魅力的とはまったく言えないものでした。自信がなく、自尊心も低く、だれにも愛されていないと感じていました。学校でもなかなか友だちをつくるできませんでした。10代のころは仲間から認められたいと切望し、愛を求めましたが、空虚で孤独な気持ちにしかありませんでした。父なる神様が、舞台裏でわたしのために働いてくださっていたことは知りませんでした。

「わたしはあなたを母の胎内に造る前から／あなたを知っていた。……あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。」(エレミヤ 1:5、イザヤ 43:1)

「そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる。」(コリント 2:6:18 口語訳)

「父母はわたしを見捨てようとも／主は必ず、わたしを引き寄せてくださいます。」(詩編 27:10)

わたしが19歳のとき、ある友だちが、彼女の教会で開催されるコンサートに誘ってくれました。音楽グループのリーダーの一人が「あなたの人生が空っぽで孤独だと感じるなら、イエスに任せてみませんか？」とアピールしました。彼の言葉と音楽はわたしの心に響き、わたしは前に出て、イエスを受け入れる決心をしました。

わたしがヨハネによる福音書を読んでいると、「父御自身が、あなたがたを愛しておられるのである」(ヨハネ 16:27 上句)という言葉に出会いました。そのときに気が付いたのです！

イエスがわたしを愛しておられることは聞いていましたが、父なる神もそうなのか。わたしはそのようなことを信じることができるのだろうか、と疑問に思っていました。わたしの理解では、父なる神様はわたしから遠い存在で(天国のどこかにいて)、わたしがしていることをすべて見ている方でした。わたしは彼のことが怖かったのです。聖書を読み進めると、わたしはイエスが大好きになりました。しかし、イエスは彼の父の愛をわたしたちに示すために来られたのでした。ピリポが、「主よ、わたしたちに御父をお示してください」と言ったのに対し、イエスは「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっているのか。わたしを見た者は、父を見たのだ」と答えたのです(ヨハネ 14:8、9)。

その子であるイエス・キリストを通して、父なる神がわたしのことを本当に愛してくださっているということ、わたしは受け入れなければなりません。

「神に近づく第1歩は、神のわたしたちに対する愛を知り、かつ信じることである(ヨハネ 1:4:15、16 参照)。なぜなら、神の愛に引かれることによって、わたしたちは神のもとに導かれるからである。」(『希望への光』1167 ページ)

「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」(ローマ 5:8) また、「神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うこと」(コリント 2:5:19) はされなかったのです。

神様がわたしのことを無条件に愛してくださっていることを理解することによって、わたしを受け入れなかった地上の父親たちを赦すことができるようになりました。神様は先に進む力をあたえてくださいました。今、わたしは天の父がおられること、わたしがいと高き神、王の王の娘であることを知っています。わたしたち人間が必要としている愛や受容を、天の父は理解してくださっています。わたしは忘れられてはいないのです。

では、わたしの4番目の父はどのような人物

だったのでしょか。母が再婚したとき、わたしは 11 歳でした。それまでのすべての男たちはわたしたちを見捨てていったので、彼がわたしたちのもとに残るか疑問でした。しかし、彼は残りました。わたしは彼を受け入れ、自分の本当の父のように愛しました。彼は父親があたえるべき愛と安心をくれました。母はすでに亡くなりましたが、父は今でもわたしの人生の要になっています。父親との関係は、血縁以上のものです。

あなたはいかがですか？ 親や家族から見捨てられたことはありますか？ 受け入れられ、

安心したいと望んでいますか？ 無条件に愛されたいと切に願っていますか？

「生けるキリストと、つらなって生きなさい。そうすれば、主はみ手をもってあなたをしっかりとささえ、決して放されないであろう。神があなたに対して持つておられる愛を知り、かつ信じなさい。そうすれば、あなたは安全である。その愛は、サタンのあらゆる欺瞞と攻撃に対して不落の要塞である。「主の名は堅固なやぐらのようだ、正しい者はその中に走りこんで救を得る」(箴言 18:10)。」

(『希望への光』1173 ページ)

祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

【賛美の祈り】

- 父よ、わたしたちを先に愛して下さったことを賛美いたします。
- あなたの愛でわたしたちを引き寄せてくださることを賛美いたします。
- あなたの絶えまない導きを賛美いたします。
- あなたの癒しの力を賛美いたします。

【告白の祈り】

主よ、あなたとのより深い関係を妨げる罪をお赦してください。

→数か月間、個人的で、静かな祈りをし、悔い改めることができるよう、聖霊に心の中の罪を示してくださるよう祈りましょう（公に告白する罪ではなく、個人的な罪です）。

【嘆願と執り成しの祈り】

- 主よ、パウロがエフェソ 3:17~19 で祈ったように、
 - *心の内に定住し、わたしたちがあなたを信頼することができますように。
 - *あなたの愛の土にわたしたちの根が深く根ざしますように。
 - *あなたの愛の広さ、長さ、高さ、深さが理解できますように。
 - *神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかれますように。
- あなたの愛で満ちあふれ、情熱的に他の人を愛し、イエスに導くことができますように。
- 混沌、悲しみ、混乱で満ちた世界中の家庭のために祈ります。
- 2019 年に世界中で行われる幾百、幾千もの伝道活動を祝福してください。特に、インドで6月に、パプアニューギニアで5月に行われる TMI（全員参加伝道）のために祈ります。
- 信仰のために迫害や投獄にあっているアドベンチスト教会員のために祈ります。
- 世界中で一般の大学に通うアドベンチストの青年の内にリバイバルが起こりますよう祈ります。キリストの力ある大使となれますように。
- イエスを明確に提示されていない世界人口の 69%の方々のために祈ります。
- 主よ、わたしたちの個人的な祈りのリストにある 7 名（もしくはそれ以上）の方のために祈ります。聖霊が働くために、彼らの心が開かれますように。また、ここに集まっている方々の個人的な必要、そして地元教会の必要のために祈ります。

【感謝の祈り】

- 父よ、わたしたちを愛し、育ててくださった〇〇さん（それらの方々の名前）をあたえてくださったあなたに感謝いたします。
- わたしたちの生まれる前からあなたのみ手をわたしたちの上に置いてくださったことに感謝いたします（詩編 139：13）。
- 主よ、もしたった一人であったとしても、わたしのために死んでくださったであろうことに感謝いたします（『希望への光』1256 ページ）。
- わたしたちが願う前から祈りに答えてくださることに感謝いたします。

【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 251 番「主われを愛す」
希望の讃美歌 254 番「世界をつくりし」
希望の讃美歌 256 番「うたえ主の愛」

【神様の約束】

- 「父御自身が、あなたがたを愛しておられるのである。あなたがたが、わたしを愛し、わたしが神のもとから出て来たことを信じたからである。」（ヨハネ 16：27）
- 「遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し／変わることなく慈しみを注ぐ。」（エレミヤ 31：3）
- 「御父がどれほどわたしたちを愛してくださるか、考えなさい。それは、わたしたちが神の子と呼ばれるほどで、事実また、そのとおりです。世がわたしたちを知らないのは、御父を知らなかったからです。」（ヨハネ 1・3：1）